

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金城 眞 徳 (新 風 会)	1 教育行政について	市内 54 小中学校の運動場から派生する砂、土埃り対策について 過去 10 年間、各議員からの当局への質問を調べた。各先輩議員ともすばらしい提案をされて、児童生徒の教育環境の整備に向けて議論されたのがよくわかった。市内 54 運動場から派生する、この砂、土埃り対策について伺う
		2 都市モノレール行政について	都市モノレールの首里駅から石嶺駅迄の部分開業について 4 者協議会は、当初 12 月中に決定する予定が、今年 3 月に結論を持ち越しているが、いかなる課題があったのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 那覇市の雇用政策について 2 琉球漆器の普及と促進について 3 那覇市におけるエネルギー政策について	(1) 過酷な働かせ方で若者らを使い捨てる「ブラック企業」が社会問題となっている。違法な残業代不払いや過重労働を強いる「ブラック企業」に対する当局の認識を問う (2) 非正規雇用の多い企業誘致策の見直しや、若者たちの就労支援の仕組みを充実させるべきである。当局の見解を問う (1) 琉球漆器の販路拡大や後継者育成のためにも、商工振興の立場からの支援が必要である。当局の見解を問う (2) 伝統工芸品の琉球漆器を普及促進することは沖縄の伝統文化を承継するためにも重要である。学校給食での導入をさらに促進すべきである。当局の見解を問う 今年 1 月に日本共産党那覇市議団はエネルギー政策の先進地、栃木県足利市を視察してきた。同市では「足利市民総発電所構想」を策定し、様々な事業を展開していた。特に、市内公共施設の電力監視装置を一元管理する「スマートグリッド通信インターフェース導入事業」は大きな節電効果を発揮していた 那覇市でも、学校や公共施設等の省エネ化を推進する為に、同事業を実施すべきである。当局の見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 通学路の安全対策について	(1) 児童生徒の交通安全を確保するスクールゾーン委員会の意義と役割を問う。委員会から提出される要望に十分に応える予算は確保されているのか。当局の見解を問う (2) 泊小学校付近では、横断歩道などの路面標示が消えかかっている。また交通量も多いが歩道が無く危険な通りもあり、早急に安全対策を行うべきである。当局の見解を問う (3) 安謝小学校の正門前や周辺道路でも、横断歩道などの路面標示は消えかかっている。また、この地区では新都心地域への抜け道として交通量が増えており、早急に安全対策を行うべきである。見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	知 念 博 (新 風 会) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 環境行政について	(1) 墓地経営について モノレールの浦添への延伸事業により、墓地の立ち退きをせまられている者が多数発生しているようである。その移転候補地の1つとして、首里寒川町の宗教法人の隣接地があがっているようだが、「墓地等の経営許可等に関する規則」は、どうなっているのか、又、その他関連する法令や条例はどういったものがあるのか、その場所での実現の可能性はどうなっているのか伺う (2) 本市の回収ガラス(ビン)のリサイクル状況について 容器包装リサイクル法に基づくガラス製容器をカレット化し、ガラス製容器や建築・土木材料などにリサイクルするため日本容器包装リサイクル協会は、市町村からの引き取り品質ガイドラインを設定している。本市の回収ガラスびんの分別及び品質状況はどうなっているのか伺う
		2 福祉行政について	障がい者用のスポーツ施設建設について 浦添市にはサンアビリティーズうらそえという障がい者がスポーツや文化活動を通じ、機能回復、健康増進、教養文化の向上を図るための施設がある。障がい者専用の温水プールや体育館、トレーニングルーム、研修室、教養文化室、音楽室兼盲人卓球室等の施設が完備され、多くの障がい者に利用されている。本市にも同様の施設が必要と考えるが当局の取り組みについて伺う
		3 経済観光行政について	琉球泡盛古酒をユネスコの「世界無形文化遺産」への登録を目指すべきと考えるが、当局の取り組みを伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	下 地 敏 男 (社 民 党)	1 市長の政治 姿勢について	市長は平成 26 年度施政方針の市政運営の基本姿勢に、「基地問題は県民の心をひとつにして訴える」決意を示し「基地が沖縄の経済振興の阻害要因である」「基地依存経済の認識は間違っている」「平和と安心・安全を基礎として自立発展を目指す沖縄の心を見失ってはならない」と述べた。又、本市議会は、去る、1 月 6 日の臨時会において仲井眞知事の辺野古埋め立て承認に抗議する意見書を賛成多数で可決した。県議会でも今 2 月定例会で、知事本人を辺野古埋め立てを承認した経緯について真相究明のために調査特別委員会（百条委員会）を設置し、審議を始めた。証人喚問される知事のこれまでの説明に県民は納得しない。県民の総意に反し、埋め立てを承認した仲井眞知事は辞任すべきであり、辺野古に基地をつくらさない平和な沖縄を求める民意に添う知事が今求められており、市長の見解を伺う
		2 平成 26 年度 の施政方針に ついて	(1) 「健康づくりと地域医療の充実」について 市民の健康づくり推進事業「健康ウォーキング大会」はどのように取り組むのか伺う (2) 観光地周辺の飼い主がいない猫の不妊去勢手術を実施する取り組みについて以下伺う ① 平成 26 年度予算計上額について ② 同事業の実施時期及び内容について
		3 福祉行政に ついて	(1) 生活困窮者自立支援法が平成 27 年 4 月 1 日施行される。制度の中の学習支援事業について本市の取り組み状況を伺う (2) 高齢者や障がいのある方が暮らしやすいまちをつくる「ユニバーサルデザインのまちづくり」に那覇市福祉のまちづくり条例はどのように活かされているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	花 城 正 樹 (なは民主)	1 サクラの名 所づくりにつ いて	首里、真和志、小禄とエリアを指定しているが、 具体的な場所について
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 平 和 行 政 (選挙) につ いて	今年 11 月には普天間基地移設問題が争点の 1 つになる知事選が予定されている。沖縄県のリー ダー像、または望ましい知事像について翁長市長 の見解を伺う
		3 沖縄からノ ーベル賞を！ について	万能細胞『S T A P細胞』を作り出した小保方 晴子さん。国内外で驚きの声があがっている (1) 本市の事業で自然や科学、環境に対する子 供たちの関心を喚起するものはあるか伺う (2) 自然や科学をテーマにした『こども自然科 学発表会』（仮称）について 自然を対象にした調査や体験などをテー マに研究作品を募集するのはどうか。見解を 伺う
		4 公共工事に ついて	本市における公共工事の際の市民被害(クレ ーム)について、過去 3 年の件数と内容を伺う
		5 人事支援シ ステムについ て	欠勤や遅刻の状況から職員がうつ病で休む兆 候を見つけ、組織に警告を送るサービス(サイダ スケア)が始まる (1) 市職員の欠勤や遅刻の状況について (2) システムに対する考え方を伺う
		6 冷水器設置 について	本市中学校における冷水器設置数とその考え 方について

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 就農一貫支援事業について	(1) 本市の農業従事者数の推移について (2) 支援事業(青年、新規)について、どのような効果が期待されるか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成26年2月26日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	仲 松 寛 (自由民主党)	1 I T行政について	I C T (情報通信技術) の公共分野への導入について 民間における I C T活用は日々の技術革新を伴い今日の社会において、I C Tは必要不可欠なものとなっている。近年、I C Tが医療、介護、福祉、教育等の公共分野へも積極的に活用され始め市民サービスの向上に役立てられている このことから政府は、I C Tを今後更に推進していく観点から総務省の「I C Tふるさと元気事業」や文科省の「学校 I C T環境整備事業」等の具体的支援策を打ち出し、地域の人材育成、雇用の創出、地域サービスの向上に役立てる事としている。については、次の事項について伺う (1) I C Tの一環として平成 25 年度沖縄振興特別推進交付金を活用した市内小中学校に電子黒板を導入したが、成果及び課題をどのように総括しているか伺う (2) 他の自治体においては、タブレット端末を活用した授業が始まっているが、本市の学校現場への導入について見解を伺う (3) 逗子市議会をはじめ他の自治体においては、議案書、参考資料、請願、行政計画などの資料を紙ではなくタブレット端末を議員全員と議会に出席する市幹部に配布して I C Tを活用した議会及び行政運営を行っている。この取り組みにより、膨大な資料を電子データ化し、ペーパーレス化によるコスト削減や利便性向上を図っているが、見解を伺う
		2 公園整備について	漫湖公園整備について 平成 26 年度予算に計上されている「桜の名所づくり事業」は桜の名所となるような場所(公園等)の候補地に桜の植樹等を行い、桜の名所として整備をする事業である。また公園を整備するための「公園整備事業」は市民のニーズに沿った公園整備を推進する事業である。については次の事項について伺う

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 公共施設整備について	(1) 漫湖公園では桜の季節になると「桜まつり」を例年開催しているが、桜まつりの主役であるべき桜の木の立ち枯れや成長不足の桜の木が多く見受けられる。桜の木の管理はどのようなになっているか伺う (2) 漫湖公園内にある休憩所は天井部や壁面等のコンクリートが剥離しており危険な状態にある。公園施設の点検、管理はどのようなになっているか伺う 古波蔵ふれあい館跡利用について 古波蔵ふれあい館は市民の健康相談、健康教育及び健康づくり事業の実施並びに地域ボランティア活動及び住民活動の拠点として児童館や福祉相談支援所、多目的ホール等が整備され地域住民にとって有効に活用されてきたが、同施設の解体撤去作業が本年から始まることになっている。については次の事項について伺う 古波蔵ふれあい館跡利用計画はどのようなになっているか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	野 原 嘉 孝 (公 明 党)	1 住宅行政について	本市は老朽化した市営住宅の建替事業を実施しているが住宅行政について以下伺う (1) 建替工事に伴い市営住宅の空き家募集に関して、何回応募しても順番が巡ってこないとの苦情が多く聞こえるがその現状と今後の見通しについて伺う (2) 市営住宅への入居を希望する高齢者世帯、障がい者世帯および多子世帯等のニーズについてどのように認識しているか当局の見解を伺う (3) 住宅困窮者に対して民間賃貸住宅を有効活用させようとする「民間住宅活用型住宅セーフティーネット整備推進事業」についてその概要を伺う (4) 住宅困窮者を支援するサポート事業について本市ではどのような取り組みをしているか
		2 新都心の「沖縄の杜ゾーン」の緑地整備・環境保全について	新都心地域の緑地帯となっている「沖縄の杜ゾーン」の整備と環境保全について以下伺う (1) 野鳥観察の状況および動植物の生息実態について (2) 文化財の有無について (3) 今後の整備計画について
		3 県産品奨励の状況について	本市は各事業および各部署で使用する資材や物品等に関して極力県内産の物を使うよう奨励しているが、その状況について以下伺う (1) 県内産の使用比率について ① 資材の状況 ② 物品の状況

質問方式
総括質問方式
(演壇・質問席)

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日（水）

順位	氏 名 （会 派 名）	発 言 事 項	発 言 要 旨
			（２） コストと品質に関する評価と奨励使用に対する見解について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	中 村 圭 介 (無所属の会) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	中心商店街活性化について	(１) 国際通りなどに路上喫煙禁止地区を設けたが、その後の進展について ① 条例施行後の当局のこれまでの取り組みについて伺う ② 公設市場雑貨部への喫煙所設置の可能性について伺う (２) 公設市場衣料部の２階に設置されているひやみかちマチグラー館について ① ひやみかちマチグラー館の開館から３年が経つが、当初の目的と目標、その進捗について伺う ② ４年目に向けた屋外広告など外観の整備計画について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 26 年 2 月 26 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	前 田 千 尋 (日本共産党)	1 学校給食費について	(1) 学校給食費の納入状況について問う (2) 消費税増税でさらなる負担を強いられる中、給食費のこれ以上の値上げはおこなうべきではない。見解を問う
		2 就学援助制度の拡充について	(1) 生活保護費の基準の引き下げによって、これまで就学援助を受けていた児童生徒がはずれてしまうことがあってはならない。影響など今後はどのように把握し検討していくのか問う (2) 消費税増税による影響と対応について問う
		3 高齢者の実態について	(1) 那覇市における後期高齢者の短期被保険者証と未更新の人数(%)と実態について問う (2) 那覇市の孤立死の実態について問う
		4 性暴力ワンストップ支援センターの設立について	(1) 沖縄県の実施計画と、那覇市の連携はどのようなになっているのかを問う (2) 県都那覇市でも、性暴力ワンストップ支援センターの設立を求める声がある。見解を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長